

【試合結果】

男子					
日時	平成30年4月14日(土) 9:00 ~				
会場	千歳スポーツセンター				
結果	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="text-align:center; width:50%;"> 豊野 埼玉 64 </td> <td style="font-size:3em; vertical-align:middle; padding:0 10px;">}</td> <td style="text-align:center; width:50%;"> 滝川江陵 道2位 46 </td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;"> 13 - 7 12 - 11 24 - 11 15 - 17 OT </td> </tr> </table>	豊野 埼玉 64	}	滝川江陵 道2位 46	13 - 7 12 - 11 24 - 11 15 - 17 OT
	豊野 埼玉 64	}	滝川江陵 道2位 46		
13 - 7 12 - 11 24 - 11 15 - 17 OT					
審判	主審 伊藤 浩司 副審 大川 潤 水嶋 星陽				

第11回北海道カップ中学生バスケットボール大会



【ボックススコア】

豊野		埼玉						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	岸本 拓也	×	3	1	0	0	0	3
5	関根 裕貴	×	25	1	10	2	5	3
6	八巻 賢人	/	0	0	0	0	0	1
7	辻崎 柊生	DNP						
8	小木 幹瑛	DNP						
9	大久保 龍之介	×	9	1	3	0	1	2
10	柏木 健吾	×	2	0	1	0	0	0
11	須藤 祐汰	DNP						
12	古橋 帆皐	/	0	0	0	0	0	1
13	高橋 和秀	/	0	0	0	0	0	0
14		DNP						
15		DNP						
16		DNP						
17		DNP						
18	小林 海人	×	25		12	1	20	2
HC	田中 英夫							
合計			64	3	26	3	26	12

滝川江陵		道2位						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	小笠原 紫礼	×	9	0	4	1	7	2
5	丸山 雄大	×	4	0	2	0	3	3
6	西迫 伯瑛	×	4	0	2	0	6	1
7	野崎 海斗	×	24	2	8	2	6	2
8	松本 太陽	×	3	0	0	3	0	0
9	渡利 颯斗	/	0	0	0	0	0	1
10	下野 裕希	DNP						
11	鈴木 翼	/	0	0	0	0	1	0
12	加賀 隆留	DNP						
13	中原 壘	/	2	0	1	0	2	0
14	安部 光	DNP						
15		DNP						
16		DNP						
17		DNP						
18		DNP						
HC	成田 貴幸							
合計			46	2	17	6	25	9

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

第1Q 豊野 #4#5#9#10#18 滝川江陵 #4#5#6#7#8
 豊野、江陵両者ともにディフェンスはハーフコートマンツーマン。豊野は#18の長身を生かしたゴール下シュートで得点を稼ぐ。対する江陵も#7のアウトサイドシュートで得点。その後、江陵はインサイドプレーヤーに対しダブルチームなどで中を固めるディフェンスを行い豊野のリズムが崩れる。しかし、豊野は#5のトップからのドライブで連続得点を重ね対応。13-7豊野6点リードで終了。

第2Q 豊野 #4#5#9#10#18 滝川江陵 #4#5#6#7#8
 ビハインドの江陵、#7がファールを誘うプレーでフリースローをもらうも得点に繋がらず苦しい時間帯がつづく。対する豊野、#5がフィジカルの強いプレーを見せ得点を重ねリードを広げる。江陵は果敢にゴールに向かうも豊野#18のブロックショットに阻まれる。しかし、徹底したインサイドに対するディフェンスとリバウンドで豊野の得点をとめ、スティールから速攻を行い反撃。結果18-25豊野7点リードで前半を終了した。

第3Q 豊野 #4#5#9#10#18 滝川江陵 #4#5#6#7#13
 豊野#4の3ポイントを皮切りに、アウトサイドシュートを中心に得点を次々と重ね開始2分で37-22豊野15点リードを広げる。堪らず江陵タイムアウト。しかし、豊野の勢いを止めることができず、49-29豊野20点の大幅リードで終了。

第4Q 豊野 #4#5#9#12#15 滝川江陵 #4#5#6#7#13
 早い時間帯で追いつきたい江陵は、#7を中心に得点。#4もオフェンスリバウンドで貢献し、ボール支配率を上げる。豊野は、江陵の足を使ったディフェンスに阻まれ得点が止まる。その後も江陵は#7のレイアップ、ジャンプシュートで得点を重ねる。対する豊野も激しいディフェンスでスティールから速攻を行う。結果64-46、アウトサイドとインサイドをうまく使った豊野が18点リードで勝利をおさめた。